卒業生寄稿 後藤大地（平成 30 年度卒業）

私は吉田高校を卒業後、山梨大学に進学しました。大学に進学してからは、吉高GPは卒業までに「身につけたい」8つの力ではなく、「身につけなければならない」8つの力であるということを強く実感しています。高校まではルールや環境に縛られた受け身の世界ですが、大学生や社会人になった途端、それらの制約は一気に取り払われ、すべての行動は自己責任の世界になります。その時に吉高GPという価値観を「ものさし」として備えておくことは、非常に重要なことだと考えています。また吉高GPの8つの力はそれぞれが独立したものではなく、ある力をきっかけにして連鎖していくものだと考えています。自己を発信し、人の話に傾聴し、それらを含めて分析・思考し、未来を想像し創造していく。これをやり切る行動力によって、最後に自己肯定感が生まれる。このような連鎖反応は日常的に起きており、この連鎖反応を持った人同士の化学反応が、より良い何かを生み出していくのだと思います。

8つの力を通じて、自分なりの考え方や価値観を持ち、仲間との化学反応を起こしていくことができれば、皆さんの人生は何十倍にも何百倍にも有意義なものになると思います。貴重な高校3年間です。有意義にお過ごしください。